

平成22年第1回定例会

予算決算常任委員会
生活文化環境森林分科会 説明資料

新県立博物館整備に関する

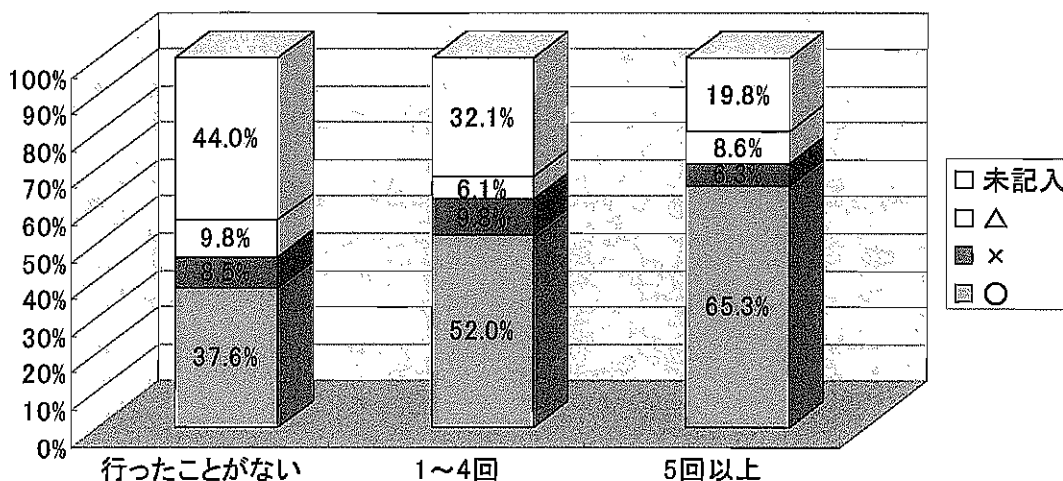
e-モニターへのアンケート調査の結果説明について・・・・・・・・・・1

平成22年3月12日

生活・文化部

1 設問1「県内外の博物館への訪問」と設問5「新県立博物館整備についての意見、提案（自由記述）」について

グラフ1



自由記述	行ったことがない	ある（1～4回）	ある（5回以上）	計
賛成（○）	88	256	175	519
	37.6%	52.0%	65.3%	52.2%
反対（×）	20	48	17	85
	8.5%	9.8%	6.3%	8.6%
その他（△）	23	30	23	76
	9.8%	6.1%	8.6%	7.6%
計	131	334	215	680
	56.0%	67.9%	80.2%	68.4%
未記入	103	158	53	314
	44.0%	32.1%	19.8%	31.6%
合計	234	492	268	994
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【グラフ1からわかること】

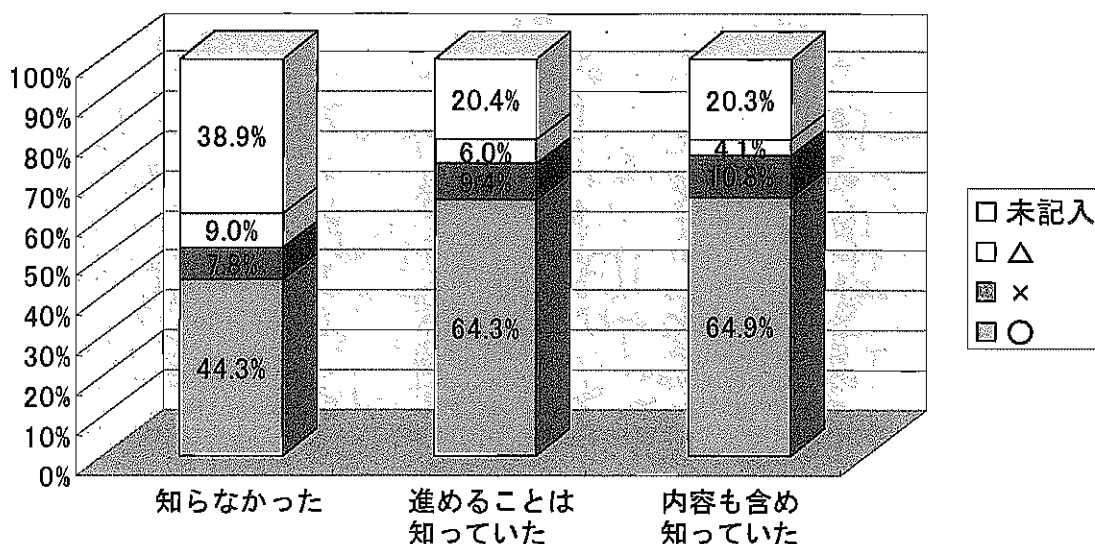
・博物館に行った回数が増えるに従い、賛成の意見が多くなり、未記入が減る傾向がみられます。

→このことから、博物館に行った回数が増えるほど、新博物館について意見を述べる人が増えることが推測されます。

・未記入の人も含めた中で「反対」、「その他」の人の割合を見ると、訪問回数の多い、少ないによって、割合は大きく変動することはないように見えます。

2 設問4「新県立博物館の整備についての認知度」と設問5「新県立博物館整備についての意見、提案（自由記述）」について

グラフ2



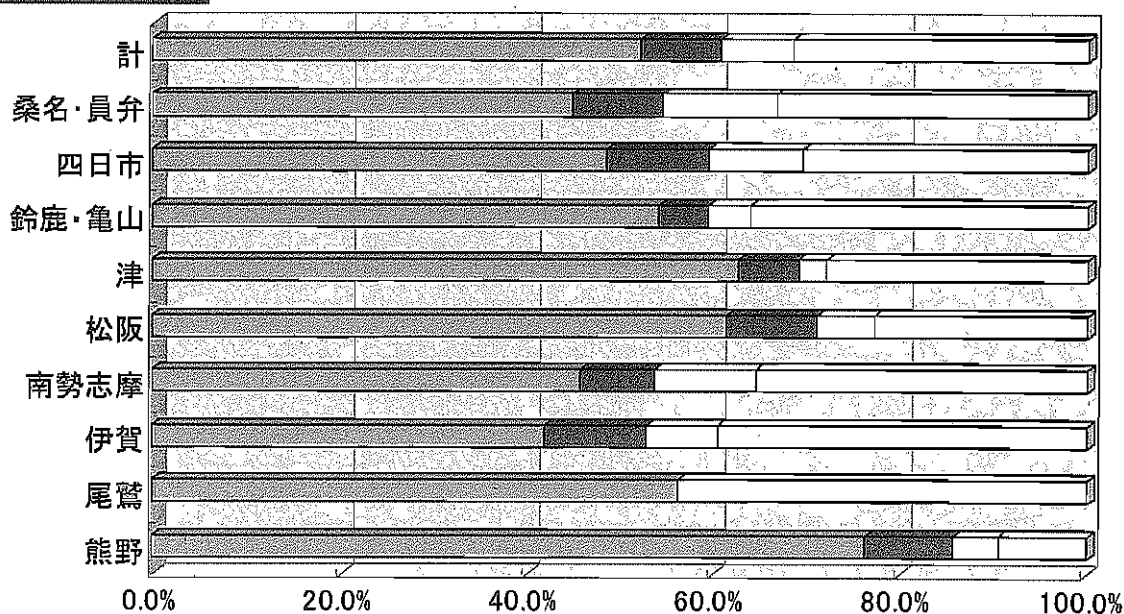
自由記述	知らなかった	整備を進めることは知っていた	内容も含め知っていた	計
賛成 (○)	266 44.3%	205 64.3%	48 64.9%	519 52.2%
反対 (×)	47 7.8%	30 9.4%	8 10.8%	85 8.6%
その他 (△)	54 9.0%	19 6.0%	3 4.1%	76 7.6%
計	367 61.1%	254 79.6%	59 79.7%	680 68.4%
未記入	234 38.9%	65 20.4%	15 20.3%	314 31.6%
合計	601 100.0%	319 100.0%	74 100.0%	994 100.0%

【グラフ2からわかること】

- ・ 設問4で「知らない」と答えた人のうち、設問5で未記入とした人が約39%、賛成とした人が約44%おり、「整備することは知っている」、「整備の内容まで知っている」場合は、両回答とも未記入が約20%、賛成が約65%となっています
→このことから、「知らない」人の方が、未記入の割合が高く、その分賛成の割合が低くなっていることや、知っている程度は、あまり賛成、未記入の比率に関係ありません。
- ・ グラフを左から右に見ていくと、「知らない」人が、内容を知ること、未記入者が、減って、賛成の割合が増えるとともに、反対の割合も微増する傾向があるように見えます。

3 地域別にみた、設問5「新県立博物館整備についての意見、提案（自由記述）」について

グラフ3



■ ○賛成 ■ × 反対 □ △ その他 □ 未記入

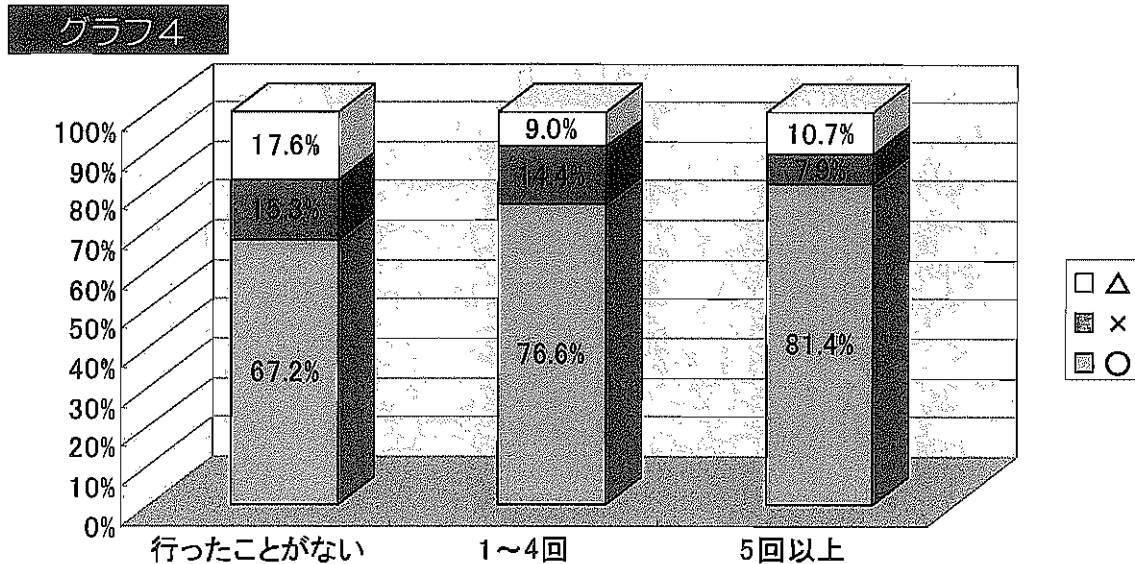
地域	賛成 (○)	反対 (×)	その他 (△)	計	未記入	合計
桑名・員弁	55	12	15	82	41	123
	44.7%	9.8%	12.2%	66.7%	33.3%	
四日市	97	22	20	139	61	200
	48.5%	11.0%	10.0%	69.5%	30.5%	
鈴鹿・亀山	72	7	6	85	48	133
	54.1%	5.3%	4.5%	63.9%	36.1%	
津	99	10	5	114	44	158
	62.7%	6.3%	3.2%	72.2%	27.8%	
松阪	70	11	7	88	26	114
	61.4%	9.6%	6.1%	77.2%	22.8%	
南勢志摩	63	11	15	89	49	138
	45.7%	8.0%	10.9%	64.5%	35.5%	
伊賀	38	10	7	55	36	91
	41.8%	11.0%	7.7%	60.4%	39.6%	
尾鷲	9	0	0	9	7	16
	56.3%	0.0%	0.0%	56.3%	43.8%	
熊野	16	2	1	19	2	21
	76.2%	9.5%	4.8%	90.5%	9.5%	
計	519	85	76	680	314	994
	52.2%	8.6%	7.6%	68.4%	31.6%	100.0%

【グラフ3からわかること】

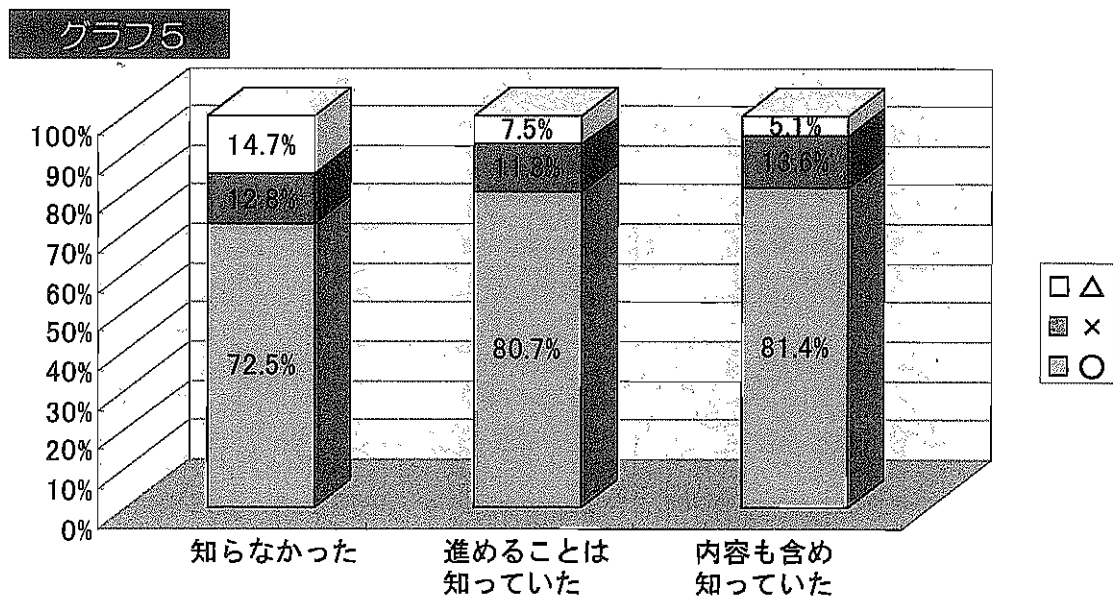
津、松阪の両地域で、賛成の割合が多いという傾向が見られることと、伊賀、桑名・員弁地域、四日市、南勢志摩地域での賛成の割合が少ないことなど、距離の離れた地域で、賛成の割合が少ない傾向がみられると考えています。

4 未記入を除いた場合

(1) 設問1「県内外の博物館への訪問」と設問5「新県立博物館整備についての意見、提案（自由記述）」について



(2) 設問4「新県立博物館の整備についての認知度」と設問5「新県立博物館整備についての意見、提案（自由記述）」について

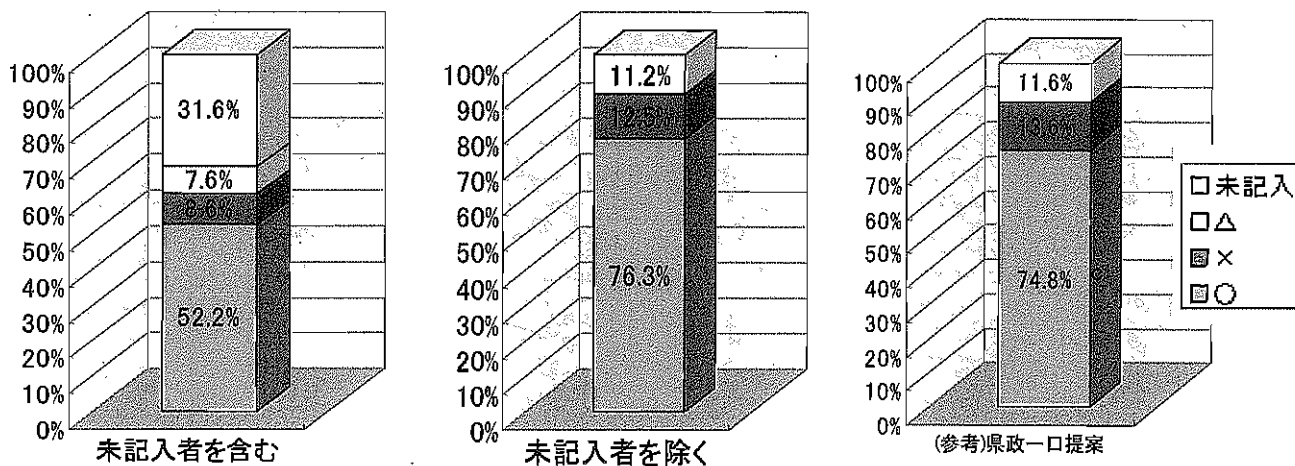


【グラフ4及び5からわかること】

- ・ グラフ4及び5は、グラフ1及び2について、未記入者を除いた「賛成」、「反対」、「その他」の割合をあらわしています。
- ・ グラフ4では、訪問回数が多くなるほど、賛成が増え、反対が減る傾向がみられます。
- ・ グラフ5では、新博物館整備の認知度が上がることにより、賛成、反対を明確に表明する人が増える傾向がみられます。

5 設問5「新県立博物館整備についての意見、提案（自由記述）」（全体）

グラフ6



【グラフ6からわかること】

- 全体の中で未記入者が約32%あります。これを入れると、「賛成」が、約52%、「反対」が約9%、「その他」が約8%になります。
- 未記入者を除いた「賛成」、「反対」、「その他」の割合が、県政一口提案と、今回のe-モニターの調査とで、ほぼ同じになっていることから、平均的にみて、反対の意見を表明する人は、全体の約15%前後ではないか、ということがいえます。